



「第20回 夏ゼロ運動実施要綱」

1. 趣 旨

夏ゼロ運動は、高温・多湿となり事故や熱中症などの労働災害が発生しやすい夏季に、働く人たちが労働災害に遭うことなく、家族全員が健康で楽しい夏休みを過ごせることを目的に平成4年以来続けられ、本年で20回目を迎える。

和気労働基準監督署管内では、平成22年に休業4日以上労働災害が全産業で94件発生しており、平成21年と比べて7件の増加となっている。夏ゼロ運動期間中では、平成22年に5件発生しており、平成21年と比べて6件の減少となっている。夏ゼロ運動期間中の労働災害は減少しているが、和気労働基準監督署管内では墜落・転落、挟まれ巻き込まれ災害等依然として重篤な災害が後を絶たず、災害防止活動のより一層の推進が望まれるところである。

そのため、災害防止団体等連絡協議会並びに和気労働基準監督署では、「災害ゼロで楽しい夏休み」をスローガンに今年度においても引き続き夏ゼロ運動を展開することとした。

2. 目 標

運動期間中における労働災害をゼロとする

3. 実施主体

- ・和気労働基準監督署
- ・災害防止団体等連絡協議会（岡山県労働基準協会和気支部、岡山県建設業協会和気支部、岡山県トラック協会県東支所、港湾労働災害防止協会岡山支部東備分会、耐火物協会中国四国支部、東備耐火物粉碎工業協同組合、備前鉄工業協同組合）
- ・各事業場

4. スローガン

「災害ゼロで 楽しい夏休み」

5. 期 間

平成23年^{ナ ツゼロ}7月20日 ~ 平成23年^{バン ザイ}8月31日

6. 実施事項

I・和気労働基準監督署

- ① 各労働災害防止団体支部・分会に対する要請及び指導援助
- ② 各事業場への本運動の周知及び指導援助
- ③ 期間中におけるパトロールの実施

II・災害防止団体等連絡協議会

- ① 各団体所属の会員事業場に対する本運動実施にむけての指導援助
- ② 期間中におけるパトロールの実施
- ③ 労働基準監督署との連携

III・各事業場

① 不 安 全 設 備 ゼ ロ

- イ 安全通路の確保
- ロ 機械設備等の安全装置の点検整備
- ハ 安全帯、安全靴、呼吸用保護具等保護具の配布及び点検
- ニ 東備地区清掃運動（事業場全体における清掃・及び総点検）の実施
- ホ リスクアセスメントの普及及びその活動の推進

② 不 安 全 行 動 ゼ ロ

- イ KYT活動の実施
- ロ 指差呼称の励行
- ハ 経営トップ及び安全管理者、安全衛生推進者等安全担当者による事業場内パトロール
- ニ 安全衛生教育の実施
- ホ 交通事故防止対策の実施
- ヘ 熱中症予防対策の実施
- ト 意識高揚のためポスター等の掲示